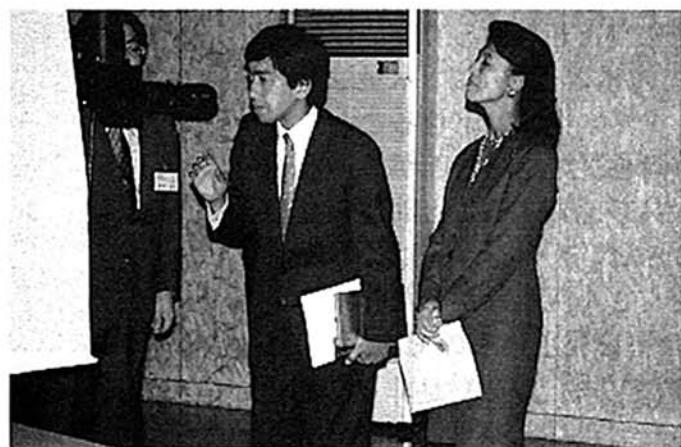


第11回「星空の街・あおぞらの街」 全国大会 開催



高円宮両殿下銀河の森天文台を視察

第11回「星空の街・あおぞらの街」全国大会が、9月11日(土) 陸別町で開催されました。この大会には、高円宮同妃両殿下、真鍋賢二環境庁長官のご臨席をいただき開催され、大会前日には両殿下が銀河の森天文台をご視察されました。山下館長の案内で、名古屋大学太陽地球環境研究所、環境庁国立環境研究所の陸別総合観測室では、名古屋大学の同研究所長の上出教授、国立環境研究所の中根上席研究官の説明を熱心に聞いておられました。観測室の最新のオーロラ観測装置、オゾン等の大気環境を測定する装置などをご覧になり、両先生にご質問されていました。次に天文台の115cm大型望遠鏡を銀河の森振興室津田係長の説明により観望され、夏の星座、秋の星座、木星、土星などを楽しまれました。天体観測のお好きな殿下は、持参されたノートパソコンを使い観望する星をチェックして、妃殿下に説明する場面もありました。予定されていた時間を変更して十分に陸別の星空を楽しんでいただきました。



「星空の街・あおぞらの街」全国大会は、全国各地より500人が参加し、大気環境の保全意識の高揚と、郷土の環境を活かした地域づくりの推進を目的にして開催されました。大会では、大気環境の保全のため功績のあった団体、個人を表彰しました。環境庁長官賞は、岡山県美星町の「美星スターウオッチングクラブ」と沖縄県糸満市の松本好郎氏が受賞されました。全国協議会会長賞として、長野市「しなの星空散歩会・きらきら」と岩手県の佐々木一行氏、道内から浜頓別町の武石正憲さんが受賞しました。

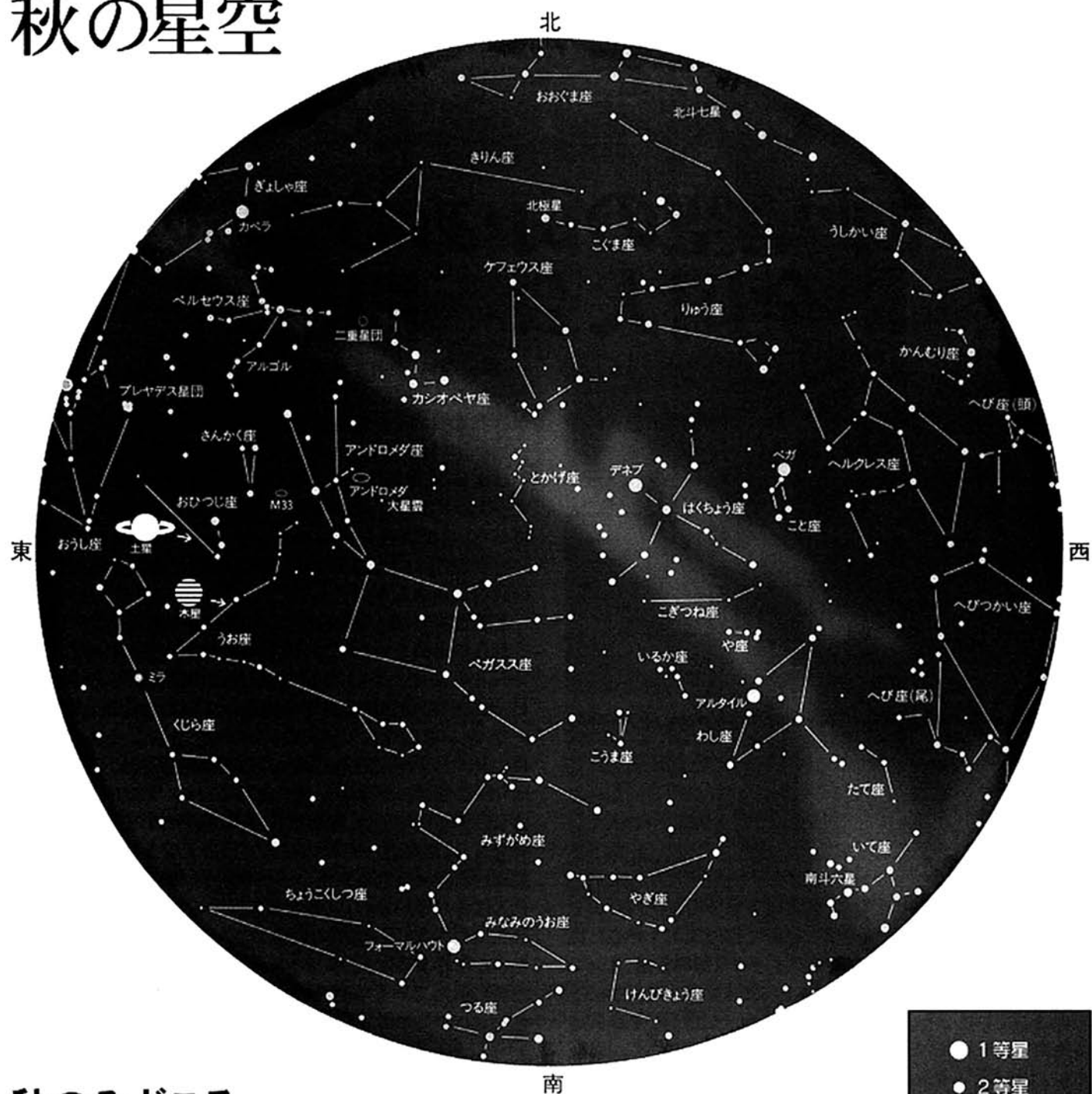
基調講演では、「宇宙を探る」と題して国立天文台 小平桂一台長に講演をいただき、国立天文台がハワイに建設した8メートル20センチの「すばる」望遠鏡の最新の写真等を紹介し、天文学の最先端の科学を講義していただきました。また、シンポジウムでは大会テーマの「空澄んで、星輝いて、森ゆたか」について、名古屋大学太陽地球環境研究所の上出洋介所長をコーディネーターとして、パネリストには音楽評論家の湯川れい子氏、環境庁国立環境研究所の中根英昭上席研究官、福島県滝根町星の村天文台の大野裕明台長、十勝東部森林管理署陸別事務所の吉田章所長、陸別町長金澤絃一の6人により議論され、大気環境の保全のための科学と人間の自然に対するこれからの姿勢についてテーマに沿ってお話をいただきました。そのなかで陸別町の豊かな自然と星空を後世に伝えていく取組を評価していただきました。



銀河の森天文台で星空コンサートを開催

大会終了後、午後8時からは会場を銀河の森天文台に移し、「星空コンサート」が開催され作曲家 神山純一氏により夜空の星の奏でる音楽やオーロラが奏でる音楽をたのしいお話とともに演奏され、神秘的な音色は、400人の聴衆を魅了しました。コンサート終了後大型望遠鏡により星空観望会が開かれ、陸別のすばらしい星空を堪能しました。

秋の星空



秋のみどころ

暑かった夏も瞬く間に過ぎ、涼しく落ち着いた紅葉の秋がやってきました。しかし夜空の星も夏の賑やかさから落ち着いてしまったわけではありません。確かに明るい星は少なくなりましたが、そんな中で南東の空にひととき明るく輝いている星があります。それがこの時期一番の見どころである木星と土星です。木星は-3等星、土星は0等星という明るさで輝いているので、すぐに見つけ出せることでしょう。美しい木星のしま模様や、土星のかわいらしい輪をまだ見たことがないという人は是非一度天文台などでご覧になってみてください。感動すること間違いなしです。そしてもうひとつ、これからの時期注目しておきたい天体ショーはしし座流星群です。大きな期待がかけられていた割にあまりたくさん流れなかった去年のしし座流星群ではありますが、今年こそたくさんの流れ星を見たいものです。今年最大1時間に約200個程度と昨年ほどの数は予想されていませんが、是非見ておきたい天体ショーです。たくさんの願い事を考えて流星群に備えましょう。

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星
- 5等星
- 変光星
- 散開星団
- ⊙ 球状星団
- ◎ 惑星状星雲
- 散光星雲
- 銀河

天文行事&暦

- 10月**
- 9 ●新月 寒露(24節季:太陽黄経195°) ジャコビニ流星群が極大の頃 9-10日木星・土星観望会
 - 15 31日まで町民無料観望会 但し18日(月)19日(火)25日(月)26日(火)は休館日です。
 - 16-17 木星・土星観望会
 - 22 オリオン座流星群が極大
 - 24 霜降(24節季:太陽黄経210°) 木星が衝
 - 25 ○満月 水星が東方最大離角
 - 30 くじら座の変光星ミラが極大の頃(周期232日23~10.1等)
 - 31 金星が西方最大離角

- 11月**
- 7 土星が衝
 - 8 ●新月 立冬(24節季:太陽黄経225°)
 - 16 水星が太陽面通過(水星が内合)
 - 17 いて座RRが極大
 - 17、18日しし座流星群観望会
 - 18 しし座流星群が極大(最大200個/時)
 - 23 ○満月 小雪(24節季:太陽黄経240°)
 - 28 C/1997BA6スペースウォッチ彗星が近日点通過

- 12月**
- 3 水星が西方最大離角(光度-0.5等)
 - 7 大雪(太陽黄経255°)
 - 8 ●新月
 - 14 ふたご座流星群極大(最大60個/時)
 - 22 冬至(太陽黄経270°)
 - 23 ○満月
 - こぐま座β流星群が極大
 - 変光星はくちょう座X極大
 - 30 30~翌年1月5日まで天文台は休館日です。

秋のイベント情報 町民無料観望会

銀河の森天文台では10月15日(金)~10月31日(日)まで、町民無料観望会を行います。

但し18日(月)19日(火)、25日(月)26日(火)は休館日です。

この時期、木星・土星が良く見え、木星のしま模様や土星のかわいらしい輪が見る人を感動させてくれます。

その他にもアンドロメダ銀河など、秋のさまざまな天体が見えますので是非この機会にお越しください。

団体、サークル活動の一環としての来館も是非この機会にどうぞ。

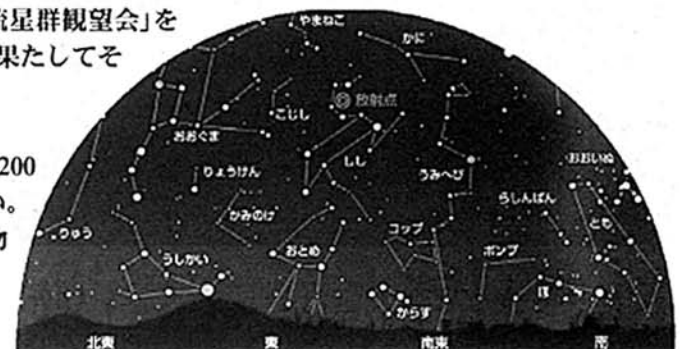


しし座流星群観望会

11月17日(水)、18日(木)に昨年に続き再び、しし座流星群が活発になるため銀河の森天文台では17・18日の開館時間を明け方まで延長して「しし座流星群観望会」を行います。今年は1時間に最大200個程度といわれていますが、果たしてその結果はいかに...

- ・しし座流星群説明会 午前0時
- ・参加方法: 申込み制 天文台へお電話ください(1日定員200名)参加される方は当日0時までにお越しください。
- ・観望会は寒い中屋上で寝転がって見ますので、防寒着や敷物をご持参ください。

※閉館時間は当日の天候により変更することもあります。



お知らせ

- ・10月1日より天文台閉館時間は冬時間に変わり、午後1時~9時30分までとなりますのでご注意ください。
- ・12月30日~翌年1月5日まで、天文台は休館日です。

売店 INFORMATION

天文台のオープンに向け、天文台オリジナルグッズとしてTシャツ・石細工・テレカ・絵葉書・キーホルダー・巾着袋・アイスクリーム等を、町内の方々に創りだしていただきました。売店で来館の皆さんに陸別の思い出として購入していただいています。好評です。

発行・編集:りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL:01562-7-8100 FAX:7-8102

URL:<http://town.rikubetsu.hokkaido.jp/tenmon/index.html> E-Mail:ginga@town.rikubetsu.hokkaido.jp